

祈りの格闘

シリーズ～続 福音の力～

2021/2/21

ルカ福音書22章39～46節

イエスがそこを出て、いつものようにオリーブ山に行かれると、弟子たちも従った。いつもの場所に来ると、イエスは弟子たちに、「誘惑に陥らないように祈りなさい」と言われた。そして自分は、石を投げて届くほどの所に離れ、ひざまずいてこう祈られた。「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」

すると、天使が天から現れて、イエスをカづけた。イエスは苦しみもたえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴るように地面に落ちた。イエスが祈り終わって立ち上がり、弟子たちのところに戻って御覧になると、彼らは悲しみの果てに眠り込んでいた。イエスは言われた。「なぜ眠っているのか。誘惑に陥らぬよう、起きて祈っていなさい。」

オリーブ山での祈り

- 祈りの場所と時刻
 - 他の福音書には「ゲツセマネ」と記されてる
 - 過越の食事(最後の晩餐)の後>夜遅い時刻
 - 「いつものように」:エルサレムに来られてからは毎日ここで祈られていたのだろうか?
- 弟子たちを伴って
 - 一人で祈られることの多いイエス様だったが
 - 「誘惑に陥らないように祈りなさい」と言われた>頼りない弟子たちでも近くで祈っていて欲しかった
 - 「石を投げて届くほどの所」>声が聞こえる距離

(怒りの)杯

「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。
しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」

- 「父よ」という親しい呼びかけ
 - マルコ福音書には「アツバ」(アラム語でパパ)
- 「御心なら」
 - 父なる神ご意志を尊重している
- 「この杯を」
 - 「わたしの怒りの杯」エレミヤ49:12
 - もちろん十字架で人類の罪を背負って死ぬこと
 - 最後の晩餐「杯」にもつながりが？

混乱

「父よ、御心なら、この杯をわたしから取りのけてください。
しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」

- 「わたしから取りのけてください」
 - このためにここまで来られたのだが、やはり決心が鈍っている
 - イエス様は**私たちと同じ人間として苦悩しておられる**
- 「しかし、わたしの願いではなく、御心のままに行ってください。」
 - 気持ちを切り替えて前に進もうとしておられる
 - 他の福音書によると同じ祈りを**3度**された！

祈りの格闘

「すると、天使が天から現れて、イエスを力づけた。イエスは苦しみもだえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴るように地面に落ちた。」

- 天使が出現
 - あまりの苦しみに見るに見かねた？
- 「苦しみもだえ」
 - イエス様にとって十字架の死がいかに重いか
 - なかなか気持ちが定まらない
- 「汗が血の滴るように地面に落ちた」
 - 大量の汗をかくほど激しく祈られたく**格闘された！**

祈りの格闘

「すると、天使が天から現れて、イエスを力づけた。イエスは苦しみもだえ、いよいよ切に祈られた。汗が血の滴るように地面に落ちた。」

- 天使が出現

- あまり

- 「苦し

- イエス

- なかなか

- 「汗が血の滴るように地面に落ちた」

- 大量の汗をかくほど激しく祈られたく格闘された！

イエス様の苦しみは100%
私たちのためであった！

眠り込んでいた弟子たち

- 「悲しみの果てに眠り込んでいた」
 - イエス様の姿にさすがの弟子たちも悲しくなった
 - それにしても眠ってしまうのはいただけない
 - イエス様の苦しみを本当に理解したわけではない
- 「誘惑に陥らぬよう、起きて祈っていなさい。」
 - 弟子たちは眠りの誘惑？に負けてしまった
 - 「心は燃えても、肉体は弱い。」(マルコ)

祈りの格闘

- 神の御心を知るための祈り
 - **本当の父**に心を向ける
 - 自分の願いを聞き届けてもらうためではなく！
- 自分自身に勝つための祈り
 - 神の御心を受け入れることは時として困難である
 - 頭で分かっているいても心から従うことは難しい
 - 自分を優先する気持ちに打ち勝つ
- 祈りきる
 - 激しく、長く、繰り返し祈る
 - イエス様でさえ3度祈られたのだから